

令和8年度 第1回大腸がん死激減プロジェクト連絡会議 議事要旨

日 時：令和8年6月15日（月）19:00～20:20

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出 席：9名

金城 達也（琉球大学大学院）、金城 徹（琉球大学病院）、
佐村 博範（浦添総合病院）、玉城 研太郎（那覇西クリニック）、
本部 卓也（中部病院）、山本 孝夫（県立八重山病院）、仲宗根 正（那覇市保健所）、
宮城 政剛（新川クリニック）、増田 昌人（琉球大学病院がんセンター）

欠 席：5名

浅野 志麻（県立宮古病院）、有賀 拓郎（中頭病院）、
玉城 研太郎（那覇西クリニック）、仲地 厚（友愛医療センター）、
宮里 浩（那覇市立病院）

陪 席：2名

知念 崇（琉球大学病院がんセンター）、西 佐和子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】**1. 令和7年度 第3回大腸がん死激減プロジェクト連絡会議議事要旨について**

増田委員より、資料1に基づき、前回会議の議事要旨について説明があり、内容の確認が行われた。

2. 今年度の委員について

増田委員より、今年度の委員構成について説明があり、委員の変更はなく、従来どおりの体制で進めることが確認された。

3. 宮古島大腸がん検診キャラバン進捗状況について

浅野委員より報告予定であったが、欠席のため、事前に預かった内容について増田委員より代読があり、2点説明があった。

1点目は、今年度もキャラバンを継続して実施する方針であることが示された。本来は規模拡大や訪問型での実施も検討されていたが、現時点では困難であり、昨年度と同様の形式での開催となる見込みである。なお、令和9年2月に宮古島健康フェスタにおいて実施予定である。

2点目は、新たに県立北部病院においても大腸がん検診キャラバンを開催することとなり、令和8年8月30日(日)の実施に向けて準備および関係者によるミーティングを開始する予定であるとの説明があった。

4. NHK テレビ番組「あしたが変わるトリセツショー」の取材について

仲宗根委員より、がん検診をテーマとした NHK 番組の取材について報告があった。今年度は那覇市が取材対象となり、9月3日(木)に放送予定である。

5. 日本産業衛生学会報告（産業衛生 100 周年シンポジウム）

仲宗根委員より、産業衛生学会および 100 周年シンポジウムへの参加報告があった。産業保健分野における考え方や沖縄県における課題について共有された。

6. 大腸 CT 検査（CT コロノグラフィー）に関する情報提供

※本項目は会議中に追加された報告事項である。

佐村委員より、新たな大腸 CT 検査に関する情報提供があった。下剤不要で内視鏡に近い精度が期待され、受診率向上に資する可能性について共有された。今後の導入可能性について検討が必要とされた。

【協議事項】

1. 大腸がん相談室利用方法の改善について

佐村委員より、相談室の利用促進に向けた改善案が示された。病院間ネットワークの強化や症例共有方法の簡素化等について説明があり、今後の検討課題として共有された。

2. 大腸がんプロジェクトの最終評価について

増田委員より、資料 3 に基づき、ロジックモデルを用いた評価方法について説明があり、ロジックモデルを用いた評価（ニーズ評価、セオリー評価、プロセス評価、インパクト評価）を実施し、個別施策評価シートに各委員がコメントを記入する形式で進める予定である。また、評価シートについては後日配布予定であり、各委員に対して可能な範囲で意見記入の協力依頼があった。

3. その他

特記事項なし。